

フジテック、09年開業「ザ・ペニンシュラ上海」から大型受注 エレベータ28台、新駆動システム「タロンドライブ」に高評価 - 中国昇降機市場で、更なるシェア拡大へ -

フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市 社長:内山高一)の中国でのグローバル法人「華昇富士達電梯有限公司」(本社:河北省廊坊市 総経理:津山圭二、以下:華昇フジテック)は、このたび上海市に建設される世界屈指の五つ星ホテル「ザ・ペニンシュラ上海」向けに、高級エレベータ28台を受注しました。受注総額は約4億円となっています。

世界屈指の五つ星ホテル「ザ・ペニンシュラ上海」

「ザ・ペニンシュラ上海」は、中国・上海の黄浦江西岸に位置し、租界時代の中心地であった外灘(バンド)近くで、1980年から1990年代にかけて賑わった老舗デパート「上海友誼商店」の跡地に建設されます。

世界屈指の五つ星ホテルにふさわしく、エレベータの乗場ドアはブロンズ仕上げ、かご内室は落ち着いた木調仕上げとなり、重厚で格調高いデザインが施されます。

同ホテルは、15階建、建築総面積が4万㎡超、客室数が250室となります。完成・開業は、上海万博が開催される前年、2009年の予定です。



The Peninsula Hotels のホームページから

フジテックが世界で初めて開発した「タロンドライブ」方式を採用

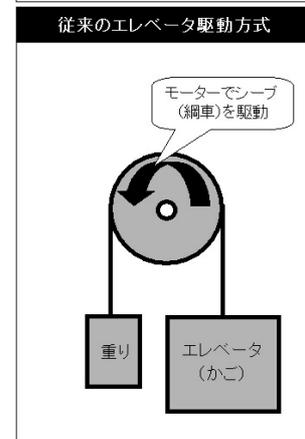
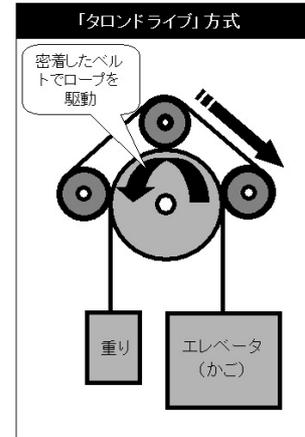
今回受注した28台のエレベータの内、22台はフジテックが世界で初めて開発した新駆動システム「タロンドライブ」によって駆動する最新システムが採用されています。「タロンドライブ」とは、シーブ(綱車)にかかるロープをベルトで押し付け、このベルトを駆動することにより、かごを昇降させるもので、ロープの滑りを考慮することなく、かごの軽量化、昇降路の省スペース化、ロープの長寿命化が図れます。

「タロンドライブ」の構造

これまでのロープ式エレベータは、駆動シーブに設けられたトラクション溝と呼ばれる特殊なロープ溝と、ロープ表面との金属の間に発生する摩擦力を用いて、かごを昇降させていました。

フジテックの「タロンドライブ」は、シーブにかかるロープをベルトで押し付け、このベルトを駆動することにより、かごを昇降させるものです。

これにより、かご自重がいくらであっても、ロープの滑りを考慮することなく、確実にエレベータを駆動することができます。フジテックでは、同システムを2002年に開発して以来、既に世界各地のオフィスビルやホテル、商業施設、公共施設などに多数納入しており、その実績と信頼性が高く評価され、今回の採用に至りました。



「タロンドライブ」方式エレベータの導入実績

- <アメリカ> ハーバー・サイド、425レキシントン・アベニュー
- <カナダ> ウィリアム・オスラー病院、フォーシーズンズ・センター
- <シンガポール> セント・レジス・ホテル
- <香港> ユニオン・スクエア
- <中国> 北京大学科学技術創新センター
- <ドイツ> シティ・ライト
- <アラブ首長国連邦> パーム・ジュメイラ・モノレール
- <サウジアラビア> ドヌーブ・モール、コーラル・モール、マディナ・カーパーク
- <日本> 兵庫医科大学

中国の昇降機市場は、年間10%を上回るペースで拡大しており、エレベータ新設需要が年間17万台と、世界需要の2分の1に近づくという驚異的な拡大を続けています。世界の競合メーカーがしのぎを削る激戦市場において、今回、「華昇フジテック」が受注を果たせたのは、「タロンドライブ」システムを始めとするフジテックの高い技術力に加え、中国国内はもとより、世界各地での大型プロジェクトへの納入実績が高く評価されたものです。フジテックは、これを弾みとして、中国市場のみならず、世界市場での更なるシェア拡大を目指しています。

本件のお問合せ先: フジテック株式会社 広報室
 Tel: 0749 30 6501 Fax: 0749 30 7055
<http://www.fujitec.co.jp>

フジテックの中国事業について（参考資料）

フジテックは、世界のグループ企業を5つの経済圏に分けたグローバル体制を構築していますが、中でも成長著しい中国市場を最重要拠点と位置づけ、中国本土での開発から生産までの一貫した体制を構築しています。

現地法人では、エレベータ部門を「華昇フジテック」、エスカレータ部門を「上海華昇フジテック」がそれぞれ担うほか、中国での研究開発拠点「上海RDセンター」、部品調達センター「上海調達センター」を立ち上げ、中国市場での高まる需要に対応するほか、世界市場でのシェア拡大を目指しています。

「華昇フジテック」について

「華昇富士達電梯有限公司」（華昇フジテック）は、1995年12月、中国中紡集团公司との合併によって、北京近郊の河北省廊坊市に設立したエレベータの専門メーカーです。中国でのエレベータ主力生産拠点として、1997年7月に本格稼働して以来、今年で操業10周年を迎えました。操業以来、中国での旺盛なマーケット需要に応えながら、順調に生産を拡大。2002年には第2工場の完成により生産能力を一段と向上させるとともに、大規模プロジェクトでのエレベータ受注台数の記録を次々と更新するなど、目覚ましい成長を遂げています。

「華昇フジテック」では現在、年間10,000台のエレベータ生産体制に向けて拡充を進めているほか、研究開発拠点である「上海RDセンター」との密接な連携の下で、高性能かつコスト競争力を高めた商品開発に取り組むなど、中国全土での更なる販売拡大と、中国でのトップ・ブランドの確立を目指しています。



「華昇フジテック」

「上海華昇フジテック」について

「上海華昇富士達扶梯有限公司」（上海華昇フジテック）は、2001年12月、中国最大手の総合商社・中国中紡集团公司との合併により設立したエスカレータおよびオートウォーク（動く歩道）の専門メーカーです。昨年12月には、中国国内および世界でのエスカレータ需要の拡大に対応するため、上海市松江工業区内にある約15万㎡の敷地に、新本社社屋、および新エスカレータ工場を建設し、今年5月から本格稼働しました。新工場は、最新鋭の生産設備を導入し、年間2,600台のエスカレータおよびオートウォークの生産能力を備えます。

敷地内には、中国における研究開発拠点「上海富士達電梯研発有限公司」（上海RDセンター）と、部品調達センター「富士達電梯配件（上海）有限公司」（上海調達センター）が隣接しており、開発から生産に至るまでのスピーディーな一貫体制を構築し、高性能・高品質の製品作りに取り組んでいます。



「上海華昇フジテック」（右）

「上海RDセンター」（左）

2007年11月27日

フジテック株式会社について（参考資料）

世界20カ国に生産、企業拠点を設置

フジテック株式会社はエレベータ・エスカレータ・動く歩道の開発から製造・販売・据付・保守に至るまでを一貫体制で行う空間移動システムの専門メーカーです。

エレベータの売上高は、世界第8位*。国内独立系のエレベータメーカーとしては売上高トップを誇ります。

フジテックは世界のグループ企業を、日本・アメリカ・欧州・南アジア・中国を含む東アジアという経済圏に分けたグローバル体制を構築しています。

*出典：ドイツ・ファイナンシャルタイムズ（2006年5月23日）



ビッグウイング(滋賀県彦根市)

15万㎡の開発・生産拠点「ビッグウイング」

2006年、滋賀県彦根市と米原市にまたがる約15万㎡の敷地に「ビッグウイング」を開設。高さ170m、世界最大級の高さと規模を誇るエレベータ研究塔を始め、本社・研究開発・生産の各機能を集約いたしました。

会社概要

会社名： フジテック株式会社
 設立： 1948年(昭和23年)2月
 事業内容： エレベータ・エスカレータ・動く歩道・新交通システム等の研究開発、製造、販売、据付、メンテナンス
 株式： 東証・大証1部上場 (6406)
 資本金： 125億3,393万円 (2007年9月30日現在)
 連結売上高： 1,047億16百万円 (2007年3月期)
 連結経常利益： 47億72百万円 (2007年3月期)
 代表者： 代表取締役社長 内山 高一

世界での生産拠点、企業拠点

アメリカ(*アメリカ/カナダ/ベネズエラ/アルゼンチン/グアム)、**ヨーロッパ**(イギリス/ドイツ/サウジアラビア/エジプト/UAE)、**南アジア**(*シンガポール/フィリピン/マレーシア/*インドネシア/ベトナム/インド)、**東アジア**(*香港、*台湾、*韓国)、中国(*上海、*北京) *生産拠点

代表的な納入実績

<日本> 東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、国立新美術館、なんばパークス、ハービスエント
 <アメリカ> ジョンFケネディ国際空港、ハリウッド&ハイランド、ニューヨークタイムズタワー
 <シンガポール> OUBセンター、バイオポリス、国立図書館
 <香港> ペニンシュラホテル、インターナショナルファイナンスセンター、香港中央図書館
 <中国> 中国国際貿易センター、北京首都国際空港、北京貴賓樓飯店、上海銀行本店ビル
 <台湾> 新光三越デパート、台湾新幹線、ミラマーエンターテインメント
 <ドイツ> ドイツ連邦議会議事堂、ドイツ連邦議会議員庁舎
 <イギリス> HSBC本社ビル、英仏海峡トンネル鉄道

以上